

試験問題（ミクロ経済学）

問1（20点）

のどがかわいたので近くのコンビニエンスストアでペットボトルのお茶を購入したい。このとき、普通は「もっと安いお茶が手に入るかもしれない」と考えて遠くのコンビニエンスストアまで足を運ぶことはない。これはなぜだろうか。理由を経済学的に論じなさい。

問2（20点（各2点））

次の1から10の空欄にあてはまる適切な語句を下の語句群から選んで記号で答えなさい。ただし同じ記号を二回以上選んでもよい。

ある財の市場が完全競争市場であるとする。この財の価格が高すぎるために供給の方が需要よりも多くなる状態を 1 という。その場合には価格が 2 する。それによって供給が 3 し需要が 4 する。逆に、価格が低すぎるために需要の方が供給よりも多くなる状態を 5 という。その場合には価格が 6 する。それによって供給が 7 し需要が 8 する。このような仕組みを 9 という。 9 によって、最終的には需要と供給を 10 させる水準に価格が決まる。

語句群

A.数量調整メカニズム B.価格調整メカニズム C.メカニズムデザイン D.ランダムウォーク
E.増加 F.減少 G.一定 H.一致 I.超過需要 J.超過供給 K.最適 L.上昇 M.下落

問3（20点（各5点））

この市場にはAとBのふたりの消費者のみが存在している。各消費者の需要関数は

$$q = D^A(p) = -p + 100$$

$$q = D^B(p) = -p + 120$$

で与えられる。ここで q は需要量、 p は価格を表す。このとき以下の問いに答えなさい。

- (1) ふたりの需要曲線をそれぞれ図示しなさい。
- (2) 市場需要曲線を図示しなさい。
- (3) $p = 100$ のときの消費者余剰を計算しなさい。
- (4) $p = 60$ のときの消費者余剰を計算しなさい。

問4 (20点 (各10点))

ある企業の費用曲線が $C(q) = 200 + 10q$ で与えられている。ここで q は生産量を表す。このとき以下の問いに答えなさい。

- (1) $q = 40$ のときの総費用、平均費用、限界費用を計算しなさい。
- (2) 総費用曲線、平均費用曲線、限界費用曲線を図示しなさい。

問5 (20点 ((1)(3)各5点(2)10点))

完全競争市場において需要関数 $D(p)$ と供給関数 $S(p)$ が以下で与えられている。

$$q = D(p) = -p + 120$$

$$q = S(p) = 2p - 30$$

で与えられる。ここで q は数量、 p は価格を表す。このとき以下の問いに答えなさい。

- (1) 均衡価格、均衡の需要量および供給量を求めなさい。
- (2) 需要曲線、供給曲線を図示しなさい。
- (3) この財に 10%の消費税が課されたとする。このとき、課税前と比較して均衡価格はどう変化するか。「上昇」「下落」「変化なし」のいずれかで答えなさい。